

野川マップ

野川

おすすめスポット



**■主な橋と橋の間の野川の距離**

|              |       |                |       |               |       |                |       |              |       |                  |       |             |       |                 |       |
|--------------|-------|----------------|-------|---------------|-------|----------------|-------|--------------|-------|------------------|-------|-------------|-------|-----------------|-------|
| 押切橋 (おしきりばし) | 0.6km | 一里塚橋 (いちりづかばし) | 1.1km | 鞍尾根橋 (くらおねばし) | 0.6km | 貫井大橋 (ぬくいおおはし) | 0.8km | 新前橋 (しんまえはし) | 1.0km | 小金井新橋 (こがねいしんばし) | 0.9km | 二枚橋 (にまいばし) | 1.0km | 富士見大橋 (ふじみおおはし) | 1.6km |
|--------------|-------|----------------|-------|---------------|-------|----------------|-------|--------------|-------|------------------|-------|-------------|-------|-----------------|-------|

**① 大池**

野川流域には、源流部から下流部まで数多くの湧水地がある。そこで湧き出た水が集まり、野川として流れる。

野川の源流の一つとなっている湧水地で、深閑とした森に囲まれている。日立中央研究所内にあり、年2回一般公開される。

**② 武蔵国分寺跡 (国史跡)**

むさしこくぶんじあと

聖武天皇の発願により諸国に建立された国分寺の一つ。僧寺金堂は全国最大級を誇ったが、新田義貞の鎌倉攻めの際に焼失したと伝わる。

国分寺崖線の豊かな自然を残す園内を湧水が流れ下り、お鷹の道の水路に注がれる。

開9時～17時  
休月 (祝日の場合は翌平日)、年末年始

**③ おたかの道湧水園**

みちゆうすいえん

環境省名水百選に選ばれた真姿の池などからなる湧水群で、水路に沿って遊歩道がある。道の名は尾張徳川家のお鷹場由来する。

国分寺駅の南に隣接する和洋折衷の回遊式林泉庭園。園内には湧水があり、野川の水源の一つ。

開9時～17時 (入園は16時30分まで) 休年末年始

**④ お鷹の道・真姿の池湧水群 (都名勝)**

環境省名水百選に選ばれた真姿の池などからなる湧水群で、水路に沿って遊歩道がある。道の名は尾張徳川家のお鷹場由来する。

国分寺駅の南に隣接する和洋折衷の回遊式林泉庭園。園内には湧水があり、野川の水源の一つ。

開9時～17時 (入園は16時30分まで) 休年末年始

**⑤ 都立殿ヶ谷戸庭園 (国名勝)**

とりつとのがやとていえん

洋画家中村研一(なかむらけんいち)の作品を中心に紹介する所蔵作品展と企画展を年3～4回開催。

開10時～17時 (入館は16時30分まで) 休月 (祝日の場合は翌平日)、年末年始、展示替期間

緑地内にある旧中村研一邸主屋と茶室は、国登録有形文化財(建造物)。主屋は、喫茶棟として活用。

開10時～17時 (喫茶棟は16時30分まで、LO:16時) 休月 (祝日の場合は翌平日)、年末年始 (喫茶棟は不定期休)

**⑥ 貫井神社**

ぬくいじんじや

天正18年(1590)、水神様の貫井弁財天を奉って創建。国分寺崖線の内の社のわきには神水が湧き、この水も野川に注ぐ。

国分寺崖線の地形と湧水を巧みに取り入れた庭園。深い樹林は武蔵野の面影を伝えてくれる。

開9時～17時 (入園は16時30分まで) 休火 (祝日の場合は翌平日)、年末年始

**⑦ 滄浪泉園**

そうろうせんえん

都立武蔵野公園

野川自然再生地区

野川第一調節池

野川第二調節池

野川第三調節池

野川第四調節池

野川第五調節池

野川第六調節池

野川第七調節池

野川第八調節池

野川第九調節池

野川第十調節池

野川第十一調節池

野川第十二調節池

野川第十三調節池

野川第十四調節池

野川第十五調節池

野川第十六調節池

野川第十七調節池

野川第十八調節池

野川第十九調節池

野川第二十調節池

**⑧ 小金井市立はけの森美術館**

こがねいしりつ

都立武蔵野公園

はけの森緑地

はけの森緑地2

はけの森緑地3

はけの森緑地4

はけの森緑地5

はけの森緑地6

はけの森緑地7

はけの森緑地8

はけの森緑地9

はけの森緑地10

はけの森緑地11

はけの森緑地12

はけの森緑地13

はけの森緑地14

はけの森緑地15

はけの森緑地16

はけの森緑地17

はけの森緑地18

はけの森緑地19

はけの森緑地20

**⑨ 美術の森緑地**

びじゅつ もりりよくち

都立武蔵野公園

はけの森緑地

はけの森緑地2

はけの森緑地3

はけの森緑地4

はけの森緑地5

はけの森緑地6

はけの森緑地7

はけの森緑地8

はけの森緑地9

はけの森緑地10

はけの森緑地11

はけの森緑地12

はけの森緑地13

はけの森緑地14

はけの森緑地15

はけの森緑地16

はけの森緑地17

はけの森緑地18

はけの森緑地19

はけの森緑地20

**⑩ 都立武蔵野公園**

とりつとむさしのこうえん

昔ながらの雑木林・広ば・くじら山・苗圃など、野趣に富んだ公園。夏は水遊び、秋は紅葉、鳥が楽しめる。

野川の調節池には、カルガモなど野鳥が飛来。広場では水遊びをするで賑わう、懐かしい風景が残る公園。

文化5年(180)当時の水車機軸残り水輪が回る

開10時～17時  
休火 (祝日の場合は翌平日)

**⑪ 都立野川公園**

とりつとがわこうえん

園内を流れる野川で、カルガモなど野鳥が飛来。広場では水遊びをするで賑わう、懐かしい風景が残る公園。

文化5年(180)当時の水車機軸残り水輪が回る

開10時～17時  
休火 (祝日の場合は翌平日)

とつむさしのこうえん  
⑩ 都立武蔵野公園



昔ながらの雑木林・広〜い原っぱ・くじら山・苗圃などを配した野趣に富んだ公園。春は桜、夏は水遊び、秋は紅葉、冬は野鳥が楽しめる。



のがわしぜんさいせいちく  
⑪ 野川自然再生地区

野川の調節池には、田んぼや池などを整備。植物や生きものの観察、田植え体験など、自然とふれあひながら自然環境の再生を目指している。

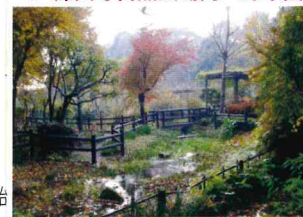
おおさわ さと  
⑫ 大沢の里



湿生花園を中心にホテルの生育環境を整えた公園。園内には、ちびっこ農業体験などが行われる水田、隣接地には湧き水を利用したワサビ田が見られる。  
保存された古民家は一般に公開。【大沢の里古民家】

開 10時～17時（冬期は16時）  
休 火（祝日の場合は翌平日）、年末年始

じんだいじせんにろばない  
⑬ 深大寺自然広場内 野草園



野草園には約 300 種 1 万本以上の野草があり、ムラサキなどの珍しい花もある。深大寺自然広場内にはデイキャンプができるかに山もある。  
※野草園の開園時間と休園日  
開 10時～16時（3月から10月）  
休 月・祝日、6月から10月までは月・祝日・第1、3、5の土日  
武者小路実篤が晩年20年間を過ごした邸宅と庭が公園となり、四季折々の武蔵野の自然を楽しめる。隣接の記念館では実篤の書画・原稿などが展示されている。  
開 9時～17時 休 月（祝日の場合は翌平日）、年末年始



むしやこうじなねあつきねかん さねあつこうえん  
⑭ 武者小路実篤記念館・実篤公園



しんめい もり いけ  
⑮ 神明の森みつ池

自然保護のため、一は年数回の観察会にているが、23区てな動植物が見られる連絡先：世田谷区 みどり公園緑地課 03-3417-0317  
国分寺崖線の樹として保全してい二ヶ所あり、セ：湿性植物群落が



大沢橋 (おおさわはし) 1.6km 御塔坂橋 (おとさかばし) 0.7km 榎橋 (えのきはし) 1.1km 馬橋 (うまはし) 0.5km 大町橋 (おおまちはし) 1.5km 野川大橋 (のがわおほはし) 1.2km 神明橋 (しんめいはし) 0.9km 中之橋 (なかのはし) 0.8km

とつむさしのこうえん  
⑯ 都立野川公園



園内を流れる野川ではカワセミやカルガモなど野鳥が憩い、わき水広場では水遊びをする子どもたちで賑わう、懐かしい水辺の光景が残る公園。

文化5年（1808）頃に創設。当時の水車機構がそのまま残り水輪が回る様子を公開。  
開 10時～17時（冬期は16時）  
休 火（祝日の場合は翌平日）、年末年始



すいしゃけいえいのうか  
⑰ 水車経営農家（しんぐるま）



約 4800 種類、約 10 万株の植物を集めた花と緑の公園。水生植物園や植物多様性センターなどもある。  
開 9時30分～17時（水生植物園は16時30分まで）  
休 月（祝日の場合は翌平日）、年末年始

豊かな緑と湧き水に恵まれた関東屈指の古刹。国宝に指定された白鳳仏（釈迦如来像）、国の重要文化財である梵鐘などの寺宝が安置されている。



じんだいじ  
⑱ 深大寺



別名とんぼ池公園。園内にある池では、トンボをはじめ様々な昆虫や水草などが観察できる。

小田急線車庫上に作られた公園。展望広場、多目的広場、ちびっこ広場と分かれ、四季折々草花が楽しめる。冬には富士山も望める。



きたみふれあい広場  
⑲ 前原公園



国分寺崖線の樹として保全してい二ヶ所あり、セ：湿性植物群落が

以上上の野草が  
いい花もある。  
イキャンがで

園日  
3月から10月)  
月・曜・第1,3,5の土日  
0年間を過ごした  
四季折々の武蔵  
藩の記念館では  
が展示されている。  
3の場合は翌平日、年末年始



おしゃこうじはねあつぎねかん さねあつこうえん  
18 武者小路実篤記念館・実篤公園



しんめい もり いけ  
21 神明の森みづ池

自然保護のため、一般開放  
は年数回の観察会に限られ  
ているが、23区でも貴重  
な動植物が見られる。  
連絡先：世田谷区 みどり33推進担当部  
公園緑地課 緑公園管理事務所  
03-3412-9575  
国分寺崖線の樹林を緑地と  
して保全している。湧水が  
ニヶ所あり、セキショウの  
湿性植物群落がある。



せいじょうさんちようめりよくち  
22 成城三丁目緑地



じだゆうぼりこうえん  
23 次大夫堀公園

江戸時代、小泉次大夫吉次  
の指揮によって作られた農  
業用水と、水田周囲の農村  
風景を復元した公園。民家  
園も併設している。  
東名高速道路と環八通りに  
囲まれているとは思えぬほ  
ど静かな都会のオアシス。  
園内には世田谷美術館もあ  
る。



とつぎめたこうえん  
24 都立砧公園



おかもとこうえん  
25 岡本公園

岡本静嘉堂緑地に連なる崖  
線の緑地を背にした公園で、  
民家園も併設している。ま  
た、静嘉堂文庫美術館も併  
設。  
国分寺崖線の豊かな緑を望  
み、兵庫池や開放的な芝生  
の広場。多摩川の水辺の環  
境と歴史を生かした憩いの  
場となっている。



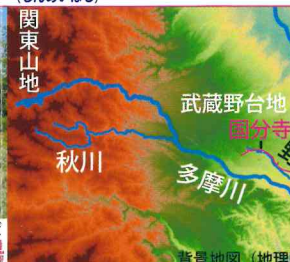
ひょうごじまこうえん  
26 兵庫島公園



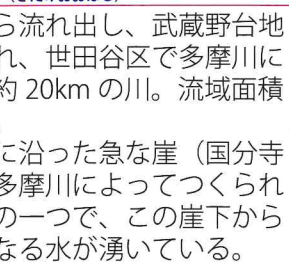
1. 園内に  
ボをはじ  
草などが



ひろば  
20 きたみふれあい広場



国分寺市から流れ出し、武蔵野台地  
の南端を流れ、世田谷区で多摩川に  
注ぐ、全長約20kmの川。流域面積  
は約70km<sup>2</sup>。  
野川の北縁に沿った急な崖（国分寺  
崖線）は、多摩川によってつくられ  
た河岸段丘の一つで、この崖下から  
野川の源となる水が湧いている。



地域では国分寺崖線のような崖の  
ことを「ハケ」と呼ぶ。緑に囲ま  
れた地表から大地にしみ込んだ雨  
水は「ハケ」下から湧き出し、野  
川に注いでいる。森は動植物だけ  
でなく、野川も育んでいる。



発行：野川流域環境保全協議会  
●小井井市 環境部 環境政策課 ☎042-387-9817 (直通)  
●国分寺市 建設環境部 緑と建築課 ☎042-325-0111 (内線) 353  
●三鷹市 都市整備部 緑と公園課 ☎0422-45-1151 (内線) 2833  
●調布市 環境部 環境政策課 ☎042-481-7086 (直通)  
●狛江市 環境部 環境政策課 ☎03-3430-1111 (内線) 2561・2562  
●世田谷区 土木部 土木計画課 ☎03-5432-1111 (代表)

・編集協力：株式会社サンワゴン  
・資料協力：野川流域連絡会、地元有志  
発行日：2020年1月



# 野川マップ

## 生きもの観察のすすめ

野川とハケの森には、魚や鳥、昆虫や草花など、たくさんの生きものが生息しています。ここでは、野川流域で良くみかけることのできる水辺と緑地の生きものを紹介します。

### 水生生物の観察

野川では、ドジョウやメダカ、コイやナマズ、スジエビ、スッポンなどたくさんの生きものを見ることができます。湧水地は、低水温できれいな水が流れ、ホトケドジョウやサワガニなどを見ることができます。



### 野鳥の観察

野川を代表する鳥として、カワセミが見られます。また、カモの仲間やサギの仲間など多くの鳥に出会うことができます。ハケの森では、オオタカやフクロウなどにも出会うことができます。



### 昆虫の観察

ハケの森では、カブトムシやクワガタ、チョウの仲間を見ることができます。水辺では、多くのトンボの仲間やゲンジボタルなども見られます。



### 植物の観察

野川では、ヒメガマやヨシ、湧水地では、ミクリやセキショウなどを見ることができます。ハケの森では、クヌギやコナラなどの樹木や、キツネノカミソリやニリンソウなどの花々が見られます。



## 野川流域の水辺の生きもの

### 上流の水辺の様子



#### 湧水地

上流には、多くの湧水地がありますが、川の水量は下流より少なく、ほとんどが浅い流れとなっています。また、湧水が流れ込むため、低い水温やきれいな水を好む生きものが比較的多く見られます。

図鑑に「外」がついているのは、外来種。「特」がついているのは、特定外来生物。

※留鳥（りゅうちょう）とは、年間を通して野川周辺に生息し、季節による移動をしない鳥。

#### 鳥類

カルガモ：留鳥  
・60.5 cm



くちばしの先は黄色。5～8月頃ヒナを連れて家族が見られる。

コガモ：留鳥  
・37.5 cm



オスは頭部が栗色、目の周囲が緑色。カモ類で一番小さい。

カイツブリ：留鳥  
・26 cm



カモ類より小さい水鳥。盛んに潜水し小魚や昆虫を食べる。

コサギ：留鳥  
・61 cm



くちばしが黒色、指先が黄色。指先で魚を追出し捕食する。

ダイサギ：留鳥  
・90 cm



くちばしは夏に黒色、冬に黄色になる。写真右の鳥はコサギ。

アオサギ：留鳥  
・93 cm



日本で一番大きなサギ。半夜行性で昼間はよく休息している。

ゴイサギ：留鳥  
・57.5 cm



夜行性で、日中はじっとし、夕方になると餌場に飛び立つ。

カワセミ：留鳥  
・17 cm



「水辺の宝石」と呼ばれる。水中に飛び込んで魚を捕える。

カワウ：留鳥  
・82 cm



潜水して魚を食べる。濡れると翼を広げて乾かす。

バン：留鳥  
・32 cm



足は黄緑色で指が長い。警戒心が強く水辺の草に隠れる。

#### 昆虫類

ハグロトンボ：6～11月  
・57～68 mm



オスのお腹は緑色に輝く。水のきれいな流れに生息。

アオモンイトトンボ：4～9月  
・30～35 mm



オスの腹部の第8・9節が水色。メスは同色型と異色型がいる。

シオカラトンボ：5～11月  
・47～61 mm



オスもメスもお尻の先が黒い。メスは別名むぎわらトンボ。

ウスバキトンボ：6～10月  
・44～54 mm



水辺で良く見られる。翅の幅が広く、体は赤褐色。

ギンヤンマ：5～10月  
・65～84 mm



オスの腹部のつけ根は、水色、メスは黄緑色。

オニヤンマ：6～10月  
・82～114 mm



日本最大のトンボ。幼虫の頃は湧水地に生息。

アキアカネ：6～12月  
・32～46 mm



アカトンボの代表種。夏に山手に移動、秋に低地に現れる。

ミヤマアカネ：7～11月  
・30～41 mm



ミヤマとあるが川べりや調節池の田んぼに生息。

ゲンジボタル：5～7月  
・15 mm



幼虫（右）は湧水地でカワニナを食べる。6月頃羽化し、光を使った繁殖を行う。

#### 植物

オギ：花9～10月  
・多年草



穂先にノギと呼ばれる毛がない。

#### 魚類 ▶ 底生魚

ドジョウ：10 cm程度



川底が泥の環境を好む。体は細長い。口ひげは10本。

シマドジョウ：10 cm程度



砂礫の環境を好む。体側に円形の黒いはん紋が並ぶ。口ひげは6本。尾びれが角ばる。

ホトケドジョウ：6 cm程度



湧水の冷たい水の環境を好む。体は短く太く、頭は上下に平たい。口ひげは8本。

ウキゴリ：10 cm程度



背びれが2つあり、第1背びれの後縁に黒点がある。

スミウキゴリ：8 cm程度



ウキゴリに似て尾のつけねが黒いが、背びれに黒点はない。

クロダハゼ (トウヨシノボリ)：6 cm程度



代表的なヨシノボリの仲間。流れの緩やかな場所にいる。

ウキゴリ：10 cm程度



ウキゴリに似て尾のつけねが黒いが、背びれに黒点はない。

コイ：40～80 cm



フナよりも淀みや深いところを好む。口ひげは4本。

オイカワ：15 cm程度



オスの婚姻色はきれい。しりびれが後ろにのびている。

スジエビ：5 cm程度



スジが明瞭。淵や流みの大きな石の周囲に生息。

#### 遊泳魚

メナミメダカ：5 cm程度



体やひれに斑紋があり、口先は長く下に尖る。砂礫の環境を好む。口ひげは2本。

ナマズ：50～70 cm



背びれが小さい。口ひげは4本あり2本は非常に長い。夜行性。

モツゴ：8 cm程度



口先がとがり、上を向いている。体の側面に黒くて目立つ線がある。

アブラハヤ：10 cm程度



黒っぽい線が1本ある。ねん液が多く、触るとヌルヌルする。

タイリクバラタナゴ：6 cm程度



目の周りが赤い。体の側面に青い線がある。

アユ：15～25 cm



背びれと尾びれの間に脂（あぶら）びれがある。川底の石に生えた珪藻を食べる。

カワニナ：3 cm程度



ゲンジボタルの幼虫の餌として知られる。比較的にきれいな水を好む。

タイワンシジミ：2 cm程度



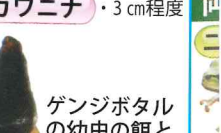
マジジミに似るが、殻の内面が一面濃紫色。砂地に潜っている。あまりおいしくない。

サカマキガイ：1 cm程度



殻は薄く左巻き。水の汚れに強い。

カワニナ：3 cm程度



ゲンジボタルの幼虫の餌として知られる。比較的にきれいな水を好む。

# 水辺の生きもの

## 下流の水辺の様子



下流は、多摩川との合流部が近いので、多摩川と野川を行き来する生きものも見られます。また、瀬や淵といった多様な流れが形成され、深いところには、コイやナマズなど大型の魚類が生息しています。

# 上流の緑地の様子

## 上流の緑地の様子



### 生きもの図鑑

|                                                                      |                                                          |                                                        |                                                       |                                                       |                                                          |                                                            |                                                   |
|----------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------|
| <b>カワウ</b> ・留鳥<br>82 cm<br>潜水して魚を食べる。濡れると翼を広げて乾かす。                   | <b>バン</b> ・留鳥<br>32 cm<br>足は黄緑色で指が長い。警戒心が強く水辺の草に隠れる。     | <b>イソシギ</b> ・留鳥<br>20 cm<br>尾を上下に振りながら水辺を歩き、水生昆虫等を食べる。 | <b>タシギ</b> ・冬鳥<br>27 cm<br>長いくちばしを泥の中にさしこんで、ミズなどを食べる。 | <b>クイナ</b> ・冬鳥<br>29 cm<br>水辺の草地で見られるが、警戒心が強く茂みに逃げ込む。 | <b>ハクセキレイ</b> ・留鳥<br>21 cm<br>「チッチッチ」と澄んだ声で鳴く。よく尾を上下に振る。 | <b>セグロセキレイ</b> ・留鳥<br>21 cm<br>黒色の顔に白色のまゆ。「ジジジジ」とにこった声で鳴く。 | <b>キセキレイ</b> ・留鳥<br>20 cm<br>お腹が黄色い美しいセキレイ。清流を好む。 |
| <b>ゲンジボタル</b> ・5~7月<br>15 mm<br>幼虫(右)は湧水地でカワナを食べる。6月頃羽化し、光を使った繁殖を行う。 | <b>植物</b><br><b>オギ</b> ・花9~10月<br>多年草<br>穂先にノギと呼ばれる毛がない。 | <b>ヨシ</b> ・花8~9月<br>多年草<br>川岸などに生える。高さ2~3m。            | <b>ミクリ</b> ・花6~7月<br>多年草<br>野川の湧水沿いで見られる。             | <b>ヒメガマ</b> ・花6~7月<br>多年草<br>茶色の穂を指で押すと種がふれ出す。        | <b>ケイトウ</b> ・花8~10月<br>一年草<br>穂先に毛がある。水辺や湿地に生える。         | <b>セキショウ</b> ・花4~5月<br>多年草<br>ハケの森の湧水地に群生している。             | <b>アレチウリ</b> ・花8~9月<br>一年草<br>河川敷に繁茂している。         |

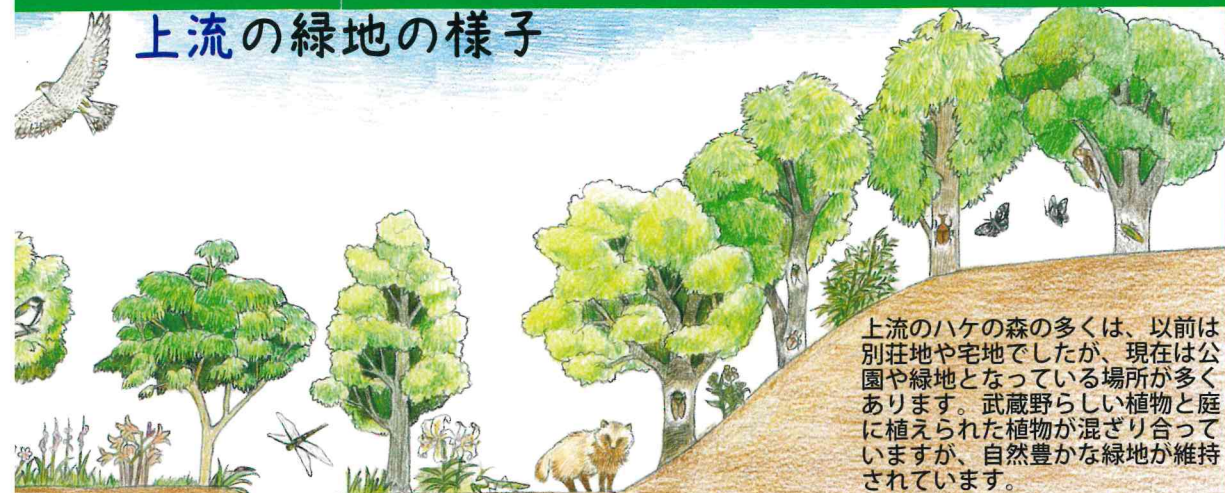
|                                                                    |                                                          |                                                          |                                                           |                                                             |                                                           |
|--------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|
| <b>鳥類</b><br><b>モズ</b> ・留鳥<br>20 cm<br>見かけによらず猛猛。トカゲや昆虫などの小動物を食べる。 | <b>キジバト</b> ・留鳥<br>33 cm<br>「デデポッポー」と鳴く。カワラバトと違い1~2羽でいる。 | <b>ハシトガラス</b> ・留鳥<br>56.5 cm<br>「カアカア」とすんだ声で鳴く。ごみをよく荒らす。 | <b>ハシボソガラス</b> ・留鳥<br>50 cm<br>「ガアガア」と濁った声で鳴く。鳴く時におじぎをする。 | <b>オナガ</b> ・留鳥<br>37 cm<br>カラスの仲間だが、尾が長く頭が黒く、羽はきれいな青色。      | <b>ヒヨドリ</b> ・留鳥<br>27.5 cm<br>「ピーヨピーヨ」と大きな声で鳴く。街路樹でも見られる。 |
| <b>アオジ</b> ・冬鳥<br>16 cm<br>単独で行動する。春先には、やぶのふちや木の枝に姿を現す。            | <b>シメ</b> ・冬鳥<br>18 cm<br>尾が短く、力強いくちばし。かたい種子も割って食べる。     | <b>ツバメ</b> ・夏鳥<br>17 cm<br>低く飛ぶと雨が降ると言われている。人家にも巣を作る。    | <b>オオタカ</b> ・留鳥<br>50 cm<br>河原や大きな公園の樹木にとまり、大型の鳥などもねらう。   | <b>チョウゲンボウ</b> ・留鳥<br>30 cm<br>上空で羽ばたきながら静止し、餌をさがす姿がよく見られる。 | <b>フクロウ</b> ・留鳥<br>50 cm<br>夜にネズミなどを狩る。耳がよく、音を頼りに狩りをする。   |

|                                                                    |                                                    |                                                                |                                                          |                                              |                                                             |                                                |                                                     |                                                    |
|--------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|----------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|----------------------------------------------------|
| <b>甲殻類</b><br><b>カワリヌマエビ</b> 属<br>1 cm程度<br>水際の水没した草の中に多数生息。       | <b>スズエビ</b><br>5 cm程度<br>スズが明瞭。淵や淀みの大きな石の周囲に生息。    | <b>アメリカザリガニ</b> ・外<br>10 cm程度<br>雑食性で水の汚れに強い。                  | <b>サワガニ</b> ・甲幅3 cm<br>野川本流には少ないが、湧水地に生息。                | <b>モクスガニ</b> ・甲幅7 cm<br>ハサミに毛が生えている。         | <b>水生昆虫</b><br><b>アメンボ</b><br>15mm程度<br>4本肢に見えるが、短い前肢が2本ある。 | <b>タイコウチ</b><br>35mm程度<br>鎌状の前肢で獲物を捕らえ、体液を吸う。  | <b>ニンギョウトビケラ属幼虫</b><br>10mm程度<br>石粒で巣をつくる。きれいな水を好む。 |                                                    |
| <b>貝類</b><br><b>カワナ</b> ・3 cm程度<br>ゲンジボタルの幼虫の餌として知られる。比較的きれいな水を好む。 | <b>サカマキガイ</b><br>1 cm程度<br>殻は薄く左巻き。水の汚れに強い。        | <b>マシジミ</b> ・2 cm程度<br>マシジミに似るが、殻の内面が一面濃紫色。砂地に潜っている。あまりおいしくない。 | <b>両生類</b><br><b>ニホンアマガエル</b><br>3 cm程度<br>田んぼなどによく産卵する。 | <b>アズマヒキガエル</b> ・6~18 cm<br>身を守るために皮膚から毒を出す。 | <b>シマアメンボ</b><br>5mm程度<br>体に模様がある。湧水地の水面にいる。                | <b>マメゲンゴロウ</b><br>7mm程度<br>後肢にブラシ状の毛があり、泳ぎが得意。 | <b>コカゲロウ属幼虫</b><br>10mm程度<br>石に付着する珪藻などを食べる。        | <b>ヒゲナガワトビケラ幼虫</b><br>40mm程度<br>大小の石を糸で組み合わせた巣を作る。 |
| <b>は虫類</b><br><b>スッポン</b><br>甲長20~35 cm<br>甲羅が柔らかく、泥底を好む。          | <b>クサガメ</b> ・甲長18~25 cm<br>とても臭いにおいがするためクサガメと呼ばれる。 | <b>ミシシippアカミガメ</b> ・甲長12~30 cm<br>石の上で甲羅干しをする。                 |                                                          |                                              |                                                             |                                                |                                                     |                                                    |

|                                                                   |                                                                            |                                                              |                                                               |                                                                                            |                                                            |
|-------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|
| <b>は虫類</b><br><b>ニホンカナヘビ</b> ・15~20 cm<br>護岸の上で日向ぼっこしている姿をよく見かける。 | <b>昆虫類</b><br><b>オオセイボウ</b> ・6~10月<br>12~20 mm<br>青緑と紫が美しいハチ。スズメバチの巣に産卵する。 | <b>ツマグロヒヨウモン</b> ・4~12月<br>30~40 mm<br>メスは前翅の先が黒い。幼虫の食草はスミレ。 | <b>ベニシジミ</b> ・6~9月<br>15~18 mm<br>幼虫はギシギシを食べる。成虫は一度に遠くまで飛ばない。 | <b>ツバメシジミ</b> ・4~10月<br>11~14 mm<br>翅にツバメの尾のような突起がある。マメ科の草原に多い。                            | <b>ゴマダラチョウ</b> ・5~8月<br>35~42 mm<br>幼虫の食草はエノキ落ち葉の中で幼虫越冬する。 |
| <b>アオダイショウ</b> ・1~2 m<br>日本最大のヘビ。無毒だが、不用意に掴むと噛まれる。                | <b>キタキチョウ</b> ・3~11月<br>20~25 mm<br>成虫の状態越冬するので、早春の頃はよく目立つ。                | <b>ツマキチョウ</b> ・3~5月<br>20~30 mm<br>翅の裏がカモフラージュ柄。オスの前翅の先が黄色。  | <b>ヒメジャノメ</b> ・5~9月<br>20~26 mm<br>幼虫はイネ科やスゲなどを食べ、成虫は樹液を集まる。  | <b>アオスジアゲハ</b> ・4~10月<br>45~55 mm<br>左がアオスジアゲハ、中央がナミアゲハ、右がナミアゲハ。急な気温上昇した晴天の日には、アゲハが大量発生する。 | <b>ナミアゲハ</b> ・4~10月<br>53~60 mm<br>同上。                     |

# 野川流域の緑地の生きもの

## 上流の緑地の様子



上流のハケの森の多くは、以前は別荘地や宅地でしたが、現在は公園や緑地となっている場所が多くあります。武蔵野らしい植物と庭に植えられた植物が混ざり合っていますが、自然豊かな緑地が維持されています。

## 下流の緑地の様子



下流は、周辺の宅地化が進んだため緑地は多くありませんが、残されたハケの森は、ボランティアによる積極的な活動にも支えられ、多様な生きものが暮らせる豊かな森として維持・保全されています。

## 緑地の生きもの図鑑

|                                   |                               |                                                             |                              |                                |                               |                               |                                |                                 |                                   |                                |                                  |                                |                             |                        |                         |  |
|-----------------------------------|-------------------------------|-------------------------------------------------------------|------------------------------|--------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|--------------------------------|---------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------|----------------------------------|--------------------------------|-----------------------------|------------------------|-------------------------|--|
| <b>スズメ</b> ・留鳥<br>56.5 cm         | <b>ハシボソガラス</b> ・留鳥<br>50 cm   | <b>オナガ</b> ・留鳥<br>37 cm                                     | <b>ヒヨドリ</b> ・留鳥<br>27.5 cm   | <b>ムクドリ</b> ・留鳥<br>24 cm       | <b>シジュウカラ</b> ・留鳥<br>14.5 cm  | <b>メジロ</b> ・留鳥<br>11.5 cm     | <b>カワラヒワ</b> ・留鳥<br>14.5 cm    | <b>コゲラ</b> ・留鳥<br>15 cm         | <b>アオゲラ</b> ・留鳥<br>29 cm          | <b>エナガ</b> ・留鳥<br>13.5 cm      | <b>シロハラ</b> ・冬鳥<br>24 cm         | <b>ツグミ</b> ・冬鳥<br>24 cm        | <b>ウグイス</b> ・留鳥<br>15.5 cm  |                        |                         |  |
|                                   |                               |                                                             |                              |                                |                               |                               |                                |                                 |                                   |                                |                                  |                                |                             |                        |                         |  |
| 「とすん」とつぶやきを繰り返す。                  | 「ガアガア」と濁った声で鳴く。鳴く時におじぎをする。    | カラスの仲間だが、尾が長く頭が黒く、羽はきれいな青色。                                 | 「ピーヨピーヨ」と大きな声で鳴く。街路樹でも見られる。  | 秋冬は群れて多い時は数千羽の集団でねぐらを形成する。     | のど元から腹にかけてネクタイがあり、太いのが雄。      | 目の周りの白いリングが目立つ。梅などの花蜜をよく吸う。   | ナタネなどの種子に群がる。飛ぶ時翼の黄色の部分が目立つ。   | キツツキ類で最小。枯木に穴を空けて巣を作る。          | 日本固有の大型のキツツキ類。生木に穴を空けて巣を作る。       | 樹木の多い公園等で見られる。繁殖期以外は群れて行動する。   | 腹部が白い。地面に降りて昆虫や木の実を食べる。          | 芝地などで2〜3歩歩いては胸を張り止まる動作を繰り返す。   | 「ホーホケキョ」とさえずる。笹やぶなどで姿が見られる。 |                        |                         |  |
| <b>オオタカ</b> ・留鳥<br>7 cm           | <b>チョウゲンボウ</b> ・留鳥<br>30 cm   | <b>フクロウ</b> ・留鳥<br>50 cm                                    | <b>植物</b>                    |                                |                               |                               | <b>ワルナスビ</b> ・花6〜10月・多年草       | <b>ユウゲショウ</b> ・花5〜9月・多年草        | <b>カスノエンドウ</b> ・花3〜6月・二年草         | <b>ムラサキケマン</b> ・花4〜6月・越年草      | <b>ネジバナ</b> ・花4〜9月・多年草           | <b>キンラン</b> ・花4〜6月・多年草         | <b>キツネノカミソリ</b> ・花8月・多年草    | <b>ヤマユリ</b> ・花7〜8月・多年草 | <b>ニリンソウ</b> ・花4〜5月・多年草 |  |
|                                   |                               |                                                             | <b>クズ</b> ・花8〜9月・多年草         |                                |                               |                               |                                |                                 |                                   |                                |                                  |                                |                             |                        |                         |  |
| 雨が降ると、河原や大きな公園の樹木にとまり、大型の鳥などもねらう。 | 上空で羽ばたきながら静止し、顔をさがす姿がよく見られる。  | 夜にネズミなどを狩る。耳がよく、音を頼りに狩りをする。                                 | 根からデンプンを取り出し、つるはカゴなどの材料に使う。  |                                |                               |                               | とげが多く害草とされる。                   | 夕方花を咲かせることから名がついた。              | つる性の植物。豆は熟すと黒くなる。                 | 直射日光の当たらない場所に生育。有毒。            | 湿った日当たりのいい場所に生育する。               | 林に生え、3〜10輪位の花をつける。             | 明るい林床に自生。毒がある。              | 見た目が豪華「ユリの王様」と呼ばれる。    | ニリンソウだが二輪じゃないこともある。     |  |
| <b>ベニシジミ</b> ・4〜12月・30〜40 mm      | <b>ツバメシジミ</b> ・4〜10月・11〜14 mm | <b>ゴマダラチョウ</b> ・5〜8月・35〜42 mm                               | <b>カラサアゲハ</b> ・4〜9月・45〜70 mm | <b>ショウリウワタ</b> ・8〜11月・50〜80 mm | <b>オオカマキリ</b> ・8〜11月・70〜95 mm | <b>アブラゼミ</b> ・7〜9月・53〜60 mm   | <b>ツクツクボウシ</b> ・7〜10月・40〜47 mm | <b>タマムシ</b> ・6〜9月・25〜40 mm      | <b>キボシカマキリ</b> ・5〜11月・14〜30 mm    | <b>アカシジノカマシ</b> ・6〜8月・17〜20 mm | <b>エビシジノカマシ</b> ・6〜8月・3.5〜5.5 mm | <b>貝類</b>                      |                             |                        |                         |  |
|                                   |                               |                                                             |                              |                                |                               |                               |                                |                                 |                                   |                                |                                  |                                |                             |                        |                         |  |
| の先が黒食草はス。                         | 幼虫はギンギンを食べる。成虫は一度に遠くまで飛ばない。   | 翅にツバメの尾のような突起がある。マメ科の草原に多い。                                 | 幼虫の食草はエノキ。落ち葉の中で幼虫越冬する。      | 後翅の表は青緑色で美しい。春はツツジの花などを訪蜜。     | 日本で最大のバッタ。イネ科植物が生える草地によく見られる。 | 丈の高い草地でよく見られる。緑色と茶色の個体がいる。    | 翅に茶色のまだら模様。「ジジジー」と鳴く。          | 成虫は7月から発生するが、初秋になると鳴き声が目立つ。     | 色の美しさから宝石に例えられる。ハケの森で稀に見られる。      | 触覚が長い。背中に薄黄色のはん点がある。           | 成虫は美しく、コナラやエゴノキなどの果実の汁を吸う。       | 別名ウシツラヒゲナガゾウムシ。エゴノキの実に集まる。     | 殻は右巻き。スジがはっきりしているものが多い。     |                        |                         |  |
| <b>ウナギ</b> ・3〜5月・20〜30 mm         | <b>ヒメジャノメ</b> ・5〜9月・20〜26 mm  | <b>アオスジアゲハ</b> ・4〜10月・45〜55 mm                              | <b>ナミアゲハ</b> ・4〜10月・53〜60 mm | <b>キアゲハ</b> ・4〜10月・40〜65 mm    | <b>オンブバッタ</b> ・8〜12月・20〜40 mm | <b>コバネイナゴ</b> ・8〜11月・33〜44 mm | <b>エンマコオロギ</b> ・8〜11月・26〜34 mm | <b>ナミテントウ</b> ・3〜11月・4.7〜8.2 mm | <b>ナナホシテントウ</b> ・3〜11月・5.0〜8.6 mm | <b>カブトムシ</b> ・6〜8月・32〜53 mm    | <b>コクワガタ</b> ・5〜9月・17〜54 mm      | <b>ノコギリクワガタ</b> ・6〜9月・39〜71 mm | <b>哺乳類</b>                  |                        |                         |  |
|                                   |                               |                                                             |                              |                                |                               |                               |                                |                                 |                                   |                                |                                  |                                |                             |                        |                         |  |
| モフラスの前翅。                          | 幼虫はイネ科やスゲなどを食べ、成虫は樹液に集まる。     | 左がアオスジアゲハ、中央がナミアゲハ、右がキアゲハ。雨上がりなど急に気温が上昇した晴天の日は、アゲハ類が吸水に集まる。 |                              |                                | 小さい個体をおんぶする姿をよく見るが、子どもではなく雄。  | 田んぼや周辺でよく見られる。側面に黒色の線がある。     | 日本で最大のクオロギ。翅をすり合わせ「コロコロ」と鳴く。   | 成虫で越冬する。背中にははん紋は個体で変異が大きい。      | 背中に7つのはん紋がある。アブラムシをよく食べる。         | 夜にクヌギやコナラの木を見て回ると、発見できる。       | 日中は樹木の根際や土中に潜み、夜になると活動する。        | 長い大あごをもつ。樹木の高い所で休んでいることが多い。    | 活動時間は主に夜間。雑食でなんでも食べる。       |                        |                         |  |